

経営比較分析表（令和元年度決算）

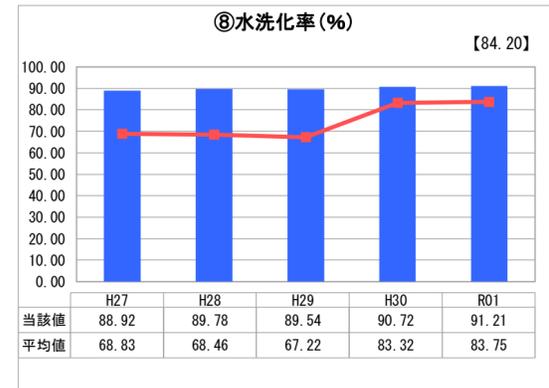
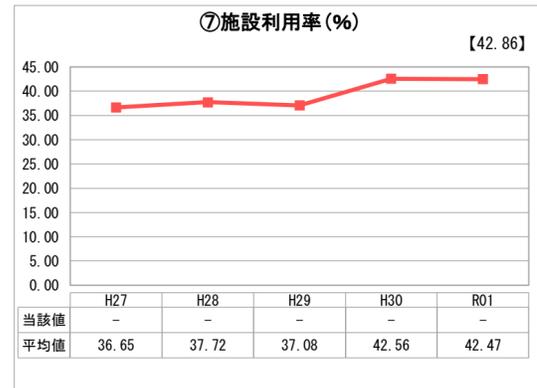
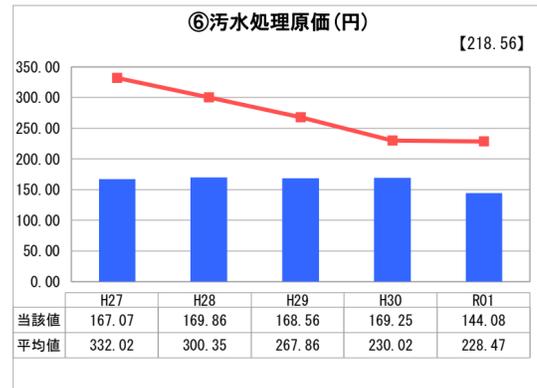
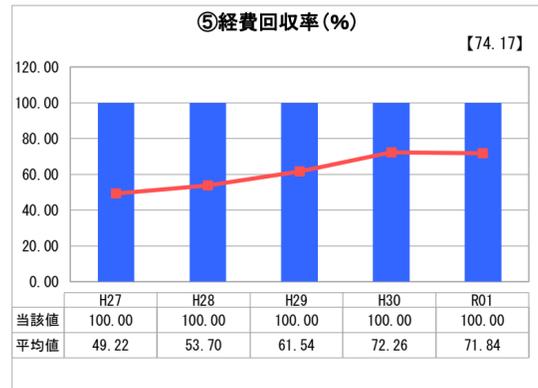
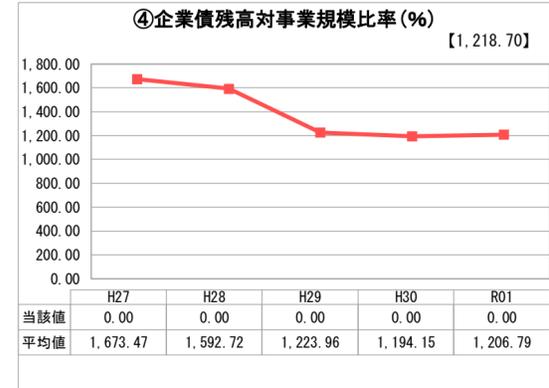
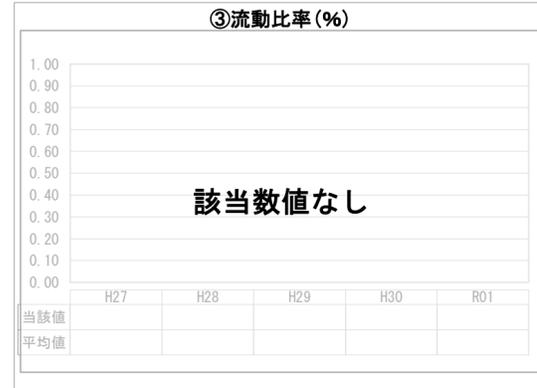
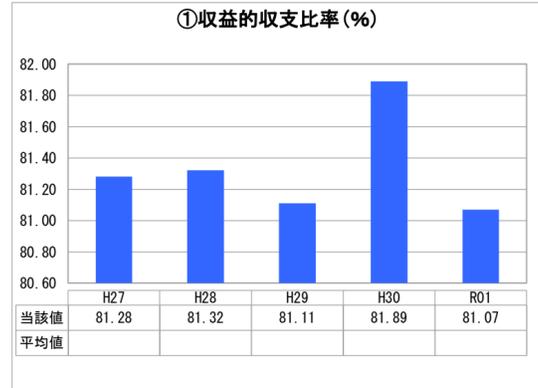
兵庫県 上郡町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.87	73.18	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,768	150.26	98.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,593	0.63	2,528.57

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、81.07%となり、前年度と比べて0.82%減少しました。前年度に比べて使用料収入が減少したことが主な要因ですが、今後も企業債の償還が増加する見込みであり、比率は低下する傾向であると予想されます。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較し、低い数値ですが、企業債の増加は下水道事業だけでなく町全体の財政状況に影響があるため、企業債残高については、今後も注視する必要があります。

料金水準の適切性を示す⑤経費回収率は、100.00%となっており、使用料収入により汚水処理に係る費用が賄えており健全であると言えます。

⑥汚水処理原価は、144.08円となり、前年度に比べて25.17円減少しました。施設の維持管理費用の減少により、汚水処理に係る費用が減少したことが主な要因です。今後は、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が見込まれ、汚水処理原価は増加する見込みです。

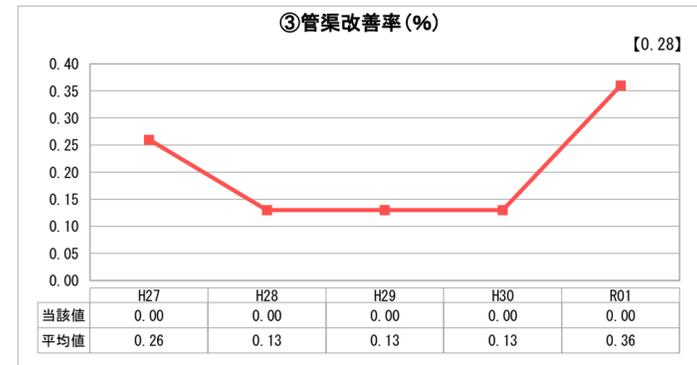
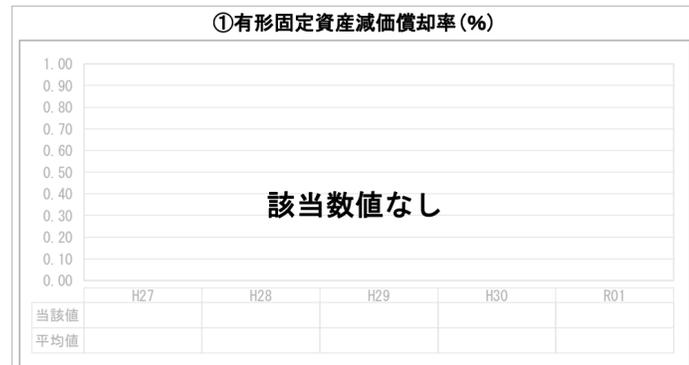
特定環境保全公共下水道事業は、終末処理場を有しておらず、公共下水道事業の施設である上郡浄化センターを使用しているため⑦施設利用率は0になります。

⑧水洗化率は、類似団体よりも高い数値であり、今後も安定した使用料収入を確保するために、水洗化へのPRを行い接続率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

特定環境保全公共下水道事業は、近年管渠の更新は行っていません。今後の老朽化対策については、ストックマネジメント計画により、施設全体の老朽化の進捗状況を把握し、優先順位を付けて、施設の点検・調査、修繕・改善を実施し、施設全体を対象とした施設管理を行ってまいります。

2. 老朽化の状況



全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道事業と一体的に整備されたことから、公共下水道と同様に、投資のために借入れた企業債の残高が高い水準にあります。

今後は、人口減少が進み、有収水量の大幅な増加は見込めないため、使用料の減少により収益の減少が懸念されますが、大幅な料金改定は利用者への負担を増やすことになるため、見直しについては、慎重に検討し、適正な使用料の確保を目指し、効率的で健全な経営に向けて取り組んでまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。